

JIS

屈折補正用眼鏡レンズの反射防止膜の仕様 及び試験方法

JIS T 7334 : 2011
(ISO 8980-4 : 2006)
(JMOIA/JSA)

平成 23 年 7 月 29 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 医療用具技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	菊 地 眞	防衛医科大学校
(委員)	堤 定 美	日本大学
	浅 岡 伸 之	社団法人日本ファインセラミックス協会
	浦 富 恵 輔	日本医療器材工業会
	大 村 昭 人	帝京大学
	小 倉 英 夫	日本歯科大学
	片 山 國 正	社団法人電子情報技術産業協会
	亀 水 忠 茂	日本歯科材料工業協同組合
	甲 田 英 一	東邦大学医療センター
	佐久間 一 郎	東京大学
	瀬 戸 則 夫	日本歯科器械工業協同組合
	棚 橋 節 子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	辻 久 男	社団法人日本画像医療システム工業会
	内 藤 正 章	日本医療機器産業連合会
	松 岡 厚 子	国立医薬品食品衛生研究所
	松 谷 剛 志	財団法人医療機器センター

主 務 大 臣：厚生労働大臣 制定：平成 17.3.25 改正：平成 23.7.29

官 報 公 示：平成 23.7.29

原 案 作 成 者：日本医用光学機器工業会

(〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-2-3 リッシュビル TEL 03-6225-5474)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：医療用具技術専門委員会 (委員長 菊地 眞)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、厚生労働省医薬食品局 審査管理課医療機器審査管理室 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 要求事項	2
4.1 一般的要求事項	2
4.2 視感反射率及び平均反射率	2
4.3 コート膜が付いた部分の使用可能寸法	2
4.4 耐久性	3
5 試験方法	3
5.1 一般	3
5.2 反射率の測定方法	3
5.3 分光反射率の決定	3
5.4 視感反射率の決定	3
5.5 平均反射率の決定	4
5.6 耐久性	4
6 要求に応じて提供可能とする事項	4
7 表示	5
附属書 A (参考) 反射防止膜付きレンズにおける ρ_V 及び ρ_M の重要性	6
附属書 B (規定) 環境試験の手順	7
附属書 C (規定) 反復摩擦試験の手順	9
附属書 D (規定) 目視評価の条件	11
附属書 E (参考) 目視評価に合格したレンズ及び不合格になったレンズの例	12
附属書 F (参考) 環境試験の手順の例	13
附属書 G (参考) 摩耗器具及び要素の例	15
解 説	17

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本医用光学機器工業会（JMOIA）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS T 7334:2005** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

屈折補正用眼鏡レンズの反射防止膜の 仕様及び試験方法

Ophthalmic optics—Uncut finished spectacle lenses— Specifications and test methods for anti-reflective coatings

序文

この規格は、2006年に第2版として発行されたISO 8980-4を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、眼鏡レンズの反射防止膜に関する光学的及び耐久性を含む非光学的要求事項並びにその試験方法について規定する。ただし、この規格は、次には適用しない。

- 透過率及び吸収率
- 反射光の色

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 8980-4:2006, Ophthalmic optics—Uncut finished spectacle lenses—Part 4: Specifications and test methods for anti-reflective coatings (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 6253 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—硬さの求め方

注記 対応国際規格：ISO 48, Rubber, vulcanized or thermoplastic—Determination of hardness (hardness between 10 IRHD and 100 IRHD) (MOD)

JIS T 7313 屈折補正用単焦点眼鏡レンズ

注記 対応国際規格：ISO 8980-1, Ophthalmic optics—Uncut finished spectacle lenses—Part 1: Specifications for single-vision and multifocal lenses (MOD)

JIS T 7314 屈折補正用多焦点眼鏡レンズ

注記 対応国際規格：ISO 8980-1, Ophthalmic optics—Uncut finished spectacle lenses—Part 1: Specifications for single-vision and multifocal lenses (MOD)

JIS T 7315 屈折補正用累進屈折力眼鏡レンズ